

「歿後30年 平田郷陽の人形」展出品予定作品リスト

会期:平成23年7月16日(土)~8月28日(日)(前期:7/16~8/7、後期:8/9~28)

第 章 生人形師の二代目として 大正末~昭和9年

No.	作品名	制作年	西暦	初出展	寸法(高・cm)	所蔵者	備考
1	片岡仁左衛門	大正末~昭和初期			58.5	個人	
2	桃太郎	大正13	1924		25	個人	
3	市松人形	昭和初期			37	株式会社吉徳	
4	答礼人形	昭和2	1927		81	株式会社吉徳	後期展示
5	鳥居風桃太郎	昭和2	1927		44.8	株式会社吉徳	
6	桃太郎 日本一	昭和初期			48	個人	
7	清正金太郎	大正15 昭和2	1926-27		25	個人	
8	兎と金太郎	昭和2頃	C.1927		31	個人	
9	金時 鯉	昭和初期			26.5	人間国宝美術館	
10	楽屋	昭和4	1929		14	株式会社吉徳	
11	静春	昭和5	1930	第3回白澤会展	47	個人	
12	粧ひ	昭和6	1931	第4回白澤会展	43.8	横浜人形の家	前期展示
13	踊	昭和7	1932	第5回白澤会展	48.5	人間国宝美術館	
14	婦女	昭和7	1932	第5回白澤会展	29	個人	
15	薬玉	昭和8	1933	第6回白澤会展	72	個人	
16	児と女房	昭和9	1934		79.8	横浜人形の家	後期展示
特別展示	答礼人形(新発見)	昭和2	1927			個人	後期展示

第 章 「人形芸術」の確立にむけて 昭和10年代

No.	作品名	制作年	西暦	初出展	寸法(高・cm)	所蔵者	備考
17	桜梅の少将	昭和11	1936	第1回改組帝展	65	東京国立近代美術館	
18	泣く子	昭和11	1936	第1回日本人形社展	21	個人	
19	朝鮮の佳日	昭和12	1937	第2回日本人形社展	36.0 / 32.5	個人	
20	朝鮮風俗	昭和12頃	c.1937		39	個人	
21	洛北の秋	昭和12	1937	第2回日本人形社展	66	東京国立近代美術館	
22	弾き語り	昭和13	1938	第3回日本人形社展	24	愛知県美術館	
23	打毬楽	昭和14	1939	岡本玉水、平田郷陽人形作品展	51.5	日本料理 おく村	
24	おしろい	昭和14頃	c.1939	第4回日本人形社展出品作と同形	19.6	美術 点々美	
25	児戯興趣	昭和14	1939	第4回日本人形社展	42.5	横浜人形の家	前期展示
26	餅(冬夏の童二趣)	昭和14	1939	第4回日本人形社展出品作と同形	15.8	個人	
27	姥と山童	昭和17	1942	第2回人形美術院展	35	個人	
28	矢の根	昭和17	1942	第2回人形美術院展	40.5	個人	
29	秋の水	昭和18	1943	第6回新文展	33	個人	
30	おさな児	昭和18	1943	桃季会展	17.5	個人	
31	元禄美人と鍾馗 模作	昭和18	1943	桃季会展	36	個人	
32	養老	昭和18	1943	第3回人形美術院展	21.8	株式会社久月	
33	炬燵	昭和10年代			14.2	個人	
34	北条時宗	昭和10年代			20.5	個人	
35	独楽廻し	昭和10年代			23.5	個人	
36	風船	昭和10年代			28	熊本県立美術館	後期展示

第 章 写実からの脱却 昭和20年代

No.	作品名	制作年	西暦	初出展	寸法(高・cm)	所蔵者	備考
37	冬の日(雪の日)	昭和21	1946	第1回日展	35.1	個人	
38	凧	昭和21	1946	第2回日展	35	熊本県立美術館	前期展示
39	冬の日	昭和21	1946		33.5	美術 点々美	
40	十三夜	昭和22	1947	第1回現代美術展	33	個人	
41	明鏡	昭和22	1947		29.5	個人	
42	ゆび	昭和22	1947		26.7	古美術はまもと	
43	姥と金太郎	昭和23	1948	第2回現代美術展	35	熊本県立美術館	後期展示
44	額 沢辺の雪	昭和23頃	c.1948		45.5 x 61.0	個人	
45	残雪	昭和24	1949	第1回現代人形美術展	44.3	個人	
46	囃子の音	昭和25	1950	三匠展	48.5	個人	
47	静寂	昭和25	1950		24.2	個人	
48	茶	昭和25	1950	第6回日展出品作と同形	17	個人	
49	装い	昭和26	1951	文部省巡回展	25	個人	
50	虫の音	昭和27	1952	個展	16	東京国立近代美術館	
51	秋韻	昭和28	1953	第9回日展	35	個人	

52	涼	昭和28	1953	第5回工彩会工芸展	33.2	人間国宝美術館	
53	浮雲	昭和29	1954	第10回日展	37	東京都現代美術館	
54	舞妓	昭和29	1954	第1回伝統工芸展	45	個人	
55	手鏡を持つ女	昭和20年代			20	個人	
56	香魚	昭和20年代			27.7	個人	
57	児歎ぶ	昭和20年代			26.5	人間国宝美術館	
58	童戯	昭和20年代			17.5	愛知県美術館	

第 章 伝統とわざの継承 昭和30年代

No.	作品名	制作年	西暦	初出展	寸法(高・cm)	所蔵者	備考
59	朝霜	昭和30	1955	第11回日展	36	個人	
60	肩ぐるま	昭和31	1956	第1回陽門会衣裳人形の会展	33	個人	
61	灯	昭和32	1957	人形美術院展	39	個人	
62	髪	昭和32	1957	工彩会工芸展	27.7	熊本県立美術館	前期展示
63	蟹満寺縁起	昭和32	1957	第4回日本伝統工芸展	43.5	熊本県立美術館	前期展示
64	ゆび	昭和32	1957	個展	27.5	個人	
65	爪	昭和33	1958	平田郷陽人形新作展(昭和34年)	28.9	個人	
66	村童	昭和33	1958	第2回陽門会展	15.8	熊本県立美術館	前期展示
67	冬麗	昭和33	1958	第2回陽門会展	15	熊本県立美術館	後期展示
68	長閑	昭和33	1958	日本人形美術院展	35	東京国立近代美術館	
69	遊楽	昭和33	1958	第5回日本伝統工芸展	45.5	東京国立近代美術館	
70	姥と金時	昭和34	1959	平田郷陽人形新作展	31	有限会社古川古美術	
71	鷺の精	昭和34	1959	第6回日本伝統工芸展	48	熊本県立美術館	後期展示
72	美智子妃	昭和34	1959		42.5	個人	
73	萌芽	昭和35	1960	第4回陽門会展	33	東京国立近代美術館	
74	鳩笛	昭和35	1960	第20回日本人形美術院展	14.2	個人	
75	清泉	昭和36	1961	第5回陽門会展	33	東京国立近代美術館	
76	瑞鳥	昭和36	1961	皇居宮殿飾りと同形	30	熊本県立美術館	後期展示
77	女	昭和37	1962	第6回陽門会展	35.5	個人	
78	荒事	昭和37	1962	第22回日本人形美術院展	32	個人	
79	春	昭和37	1962		30	個人	
80	流れ	昭和37	1962	第9回日本伝統工芸展	38.5	個人	
81	採集	昭和38	1963	第7回陽門会展	40	株式会社吉徳	後期展示
82	藤	昭和38	1963	第7回陽門会展	58.6	個人	
83	愛趣楽	昭和38	1963	第10回日本伝統工芸展	31.5	個人	
84	おんな	昭和39	1964	第8回陽門会展	35.5	個人	
85	越後路	昭和39	1964	第11回日本伝統工芸展	21	個人	
86	折鶴	昭和30年代			15.2	個人	
87	子雀	昭和30年代			16	愛知県美術館	
88	熟柿(座像)	昭和30年代			12	熊本県立美術館	前期展示
89	熟柿(立像)	昭和30年代			21.6	個人	
90	端午	昭和30年代			23	熊本県立美術館	前期展示
91	雛遊	昭和30年代			16.7	人間国宝美術館	
92	明月	昭和30年代			15.8	個人	
93	夢	昭和30年代			7.5	熊本県立美術館	後期展示

第 章 郷陽芸術の大成 昭和40年代以降

No.	作品名	制作年	西暦	初出展	寸法(高・cm)	所蔵者	備考
94	童と良寛	昭和40	1965	第9回陽門会展	42.1	熊本県立美術館	後期展示
95	陽ざし	昭和40	1965		27.1	横浜人形の家	前期展示
96	抱擁	昭和41	1966	第13回日本伝統工芸展	35	個人	
97	戯童	昭和43	1968	第4回人間国宝新作展	17.5	人間国宝美術館	
98	香り	昭和44	1969	第16回日本伝統工芸展	31	個人	
99	綾取	昭和46	1971	第13回澁漉会工芸名作展	21	個人	
100	松浦佐用比賣	昭和46	1971	第18回日本伝統工芸展	38.5	個人	
101	地唄舞	昭和47	1972	第16回陽門会展	45	個人	前期展示
102	虎の子	昭和47	1972	第16回陽門会展	28.2	個人	
103	朝の庭	昭和47	1972	第19回日本伝統工芸展	34.5	個人	
104	櫛名田姫衣装像	昭和48	1973	第20回日本伝統工芸展	35	個人	
105	天のうずめの命	昭和49	1974	第21回日本伝統工芸展	42	個人	
106	宴の花	昭和50	1975	第22回日本伝統工芸展	30.5	個人	
資料	帯留 兎				H3.0×W5.0	個人	

作品名に がついているものは、資料などから作品名が判らなかつたため、作品の形状などから主催者が作品名をつけたものです。